

湘南医療大学 ティーチング・ポートフォリオ

大学名 湘南医療大学

所属 薬学部

名前 池上大悟

作成日 2023年6月13日

1. 教育の責任

湘南医療大学の理念は、「人を尊び、命を尊び、個を敬愛す」に基づき、人間の生命や尊厳を理解できる豊かな人間性と「薬学の医療専門職」としての知識・技術を修得して、保健、医療、福祉、教育の幅広い分野で地域の健康増進・公衆衛生を支え、寄与・貢献できる医療人を養成する、である。湘南医療大学の教育理念に基づき、私は薬学部で薬理学、薬物治療学、薬理学実習、そしてチューター活動を担当する教員として、以下のような教育活動に取り組んでいる。

担当科目:

薬理学Ⅰ(必修・2年後期)

薬理学Ⅱ(必修・3年前期)

薬物治療学Ⅰ(必修・3年前期)

薬理学実習(必修・3年前期)

2023年度入学生のチューター活動

2. 私の理念・目的

1) 私の理念

高校までの教育とは違い、大学では学生自身の責任が高くなり、学習においても自己学習が大きく学力に依存する。学生が学ぶ力をつけていくことが必要である。私は学生の主体性を重視している。教員はあくまで学生のガイド役であると考えている。薬学という学問に興味を持ち、知識を得ることを面白いと感じて、自ら知識を求める形が理想的である。それぞれの個性を尊重しつつ、多くの選択肢を経験させることで、すべての学生が主体性を持って学習することが必要となる。そして大学生生活を経て卒業後も成長していく力をつけることが最終目的と考える。

2) 理念をもつに至った背景

私は教育活動を通して、学生の多様性に焦点を向けることの重要性に気がついた。薬学という学問に興味を持ち、知識を得ることを面白いと感じている学生は、一様に成績の伸びが良いが、面白いと感じたきっかけは様々であった。そのため、様々な選択肢を増やし、個々の個性にあった選択ができるように務めなければいけない。

3. 教育の方法・戦略

講義では、学生に合わせて改善していく形をとっている。ただ聞いているだけの講義では、身につく辛いと考え、確認ワークとして復習問題を取り入れている。書くという作業や、講義の内容を講義内で復習する工程である。また最近の講義では、講義開始時にも予習を兼ねた練習問題を解くようにし、講義に入りやすいようにしている。さらに次回からは、復習しやすいように、覚えるべきことをなるべく表にまとめるなどした資料を配布予定である。このように、少しずつ講義を改善していくことで効果を挙げていくようにしている。

また講義の出席に関しても可能な限り個々の出席率を把握し、休みが多くなった場合には、呼び出して本人に体調管理等の事情を確認し、チューターにも報告することで、多方面からの指導を行えるように心がけている。

薬理学実習では未知検体制を用いて、学生のモチベーション維持や、主体的な実習への参加を促している。未知検体制では、各班に未知の検体が割り当てられ、動物実験等を介して、薬物の作用を観察し、その薬物が何かを検討していく実習である。自身の班の薬物の作用を理解するために、実習中もよく観察を行ったり、自主的に薬物の作用を調査したりと、主体性のある学習が行える。

チューター活動では、学生と定期的に面談する機会を設け、コンタクト回数を増やすようにしている。また、休みの多い学生や小テスト等の成績が悪い場合に、呼び出しをしてさらにコンタクト回数を増やしている。

4. 学習成果

2年後期の講義での学生の平均点は70点を超え、学生の理解度はよいと考える。3年前期での成績は薬理学と薬物治療が同時並行となってしまっていたが、平均点は70点近いため、理解度は高いと考える。

チューター活動ではほとんどの学生が単位をすべて取得した。後期も継続できるように声掛けしていく予定である。

5. 改善のための努力

常に、講義等々の改善点については確認しており、改善できることはすぐに行っている。しかしながら学習の継続性や知識の定着を意識しなければならないと考える。単発の定期試験では、点数が取れるものの、学力テスト等の詰め込まないで望むテストでは点数が伸び悩む。そのため、暗記用の資料や課題等により、繰り返しの学習を行っていかねなければいけないと考える。

6. 今後の目標

短期の目標としては学習のポイントを覚えやすくまとめた資料の配布を考えている。それにより、繰り返しの学習を促すつもりである。これはこの後期より始めるつもりである。また、長期的には、配布資料の形を少しずつ改善し、埋めていくことでノートが出来上がるような資料にしたいと考えている。

【添付資料】

特になし